

病床機能報告

- 1 病院名 医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター
- 2 所在地 埼玉県朝霞市溝沼 1340 - 1
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 12 病棟

病床数 (現在:2017 年病床機能報告)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
160 床	166 床	0 床	0 床	326 床



病床数 (現在:2018 年病床機能※病院移転の為変更している)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
177 床	213 床	0 床	56 床	446 床



(2025 年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
446 床	0 床	0 床	0 床	446 床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

4 主な連携医療機関

- ・紹介元 朝霞厚生病院、新座志木中央総合病院、埼玉病院、北野病院
菅野病院、TMG 宗岡中央病院、新座病院、塩味病院
- ・紹介先 朝霞厚生病院、新座志木中央総合病院、埼玉病院、北野病院
菅野病院、TMG 宗岡中央病院、新座病院、塩味病院
戸田中央総合病院 東所沢病院

5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
SCU	9 床	高度急性期	11.4 日	53.7%
診療科 脳神経外科				
診療実績				
○脳卒中に伴う手術 →190 件 (病院移転後 H30.1~H30.6 実績) 24 時間対応可能				
○脳卒中に伴う救急件数 →307 件 (病院移転後 H30.1~H30.6 実績)				
○当該病棟における重症度、医療・看護必要度 →83.3%				
○重症患者への対応 →常時、専任医師を配置しており 24 時間緊急対応が可能				

病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
4B 病棟	35 床	急性期	22.6 日	83.5%
診療科 脳神経外科・循環器内科				
<p>診療実績</p> <p>○脳卒中に伴う手術 190 件（病院移転後 H30.1～H30.6 実績）24 時間対応可能</p> <p>○心疾患に伴う手術 12 件（循環器内科開設後 H30.4～H30.6 実績）</p> <p>○てんかんセンター実績</p> <p>→てんかん手術 6 件（病院移転後 H30.1～H30.6 実績）</p> <p>→長期ビデオ脳波検査 124 件（病院移転後 H30.1～H30.6 実績）</p> <p>○当病棟における在宅復帰率</p> <p>→94.1%</p> <p>○当病棟における重症度、医療・看護必要度</p> <p>→46.5%</p> <p>○脳卒中に伴う救急件数</p> <p>→307 件（病院移転後 H30.1～H30.6 実績）</p>				
<p>医療連携における課題、問題点</p> <p>○医療圏には同グループ病院である TMG 宗岡中央病院・新座病院に回復期リハビリテーション病棟や地域包括病棟を展開している。また、近隣の慢性期の病院とも連携が取れているので特に問題はない。</p> <p>○さらに、自院の在宅医療部と地域の在宅医療機関との連携も良好であり、在宅への移行は非常にスムーズに行っている。</p> <p>○地域の医療連携における課題としては、各医療機関の病床機能に対して異なる病態の患者さまを受け入れしている事に対する対策が必要ではないか。居住区域や生活環境であったり、かかりつけであったりすれば、慢性期の病床に多少無理をしても入れてしまったり、その逆もある。地域の医療機関が密な連携を図る事で患者さまの病態に一番適した機能の病床を提供する事が出来るのではないかと考える。</p> <p>○地域医療構想の「医療提供体制」の整備の方向性（南西部区域）にあるとおり、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 回復期病床の必要数増 ② 在宅医療の大幅な増 ③ 急性期病床の必要数減 <p>以上の必要量に対するアプローチが必要と思われる。</p>				
<p>その他</p> <p>○従来通りの外科、整形外科を中心とした高度急性期医療を基に、更に脳神経外科、循環器内科に注力して総合的な高度急性期医療を目指して行く。</p>				

病床機能報告

1 病院名 医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院

2 所在地 埼玉県入間郡三芳町藤久保 974-3

3 病棟数及び病床数

病棟数 7病棟

病床数 238床 (現在:2017年病床機能報告)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
8床	184床	床	46床	238床

(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
10床	217床	床	46床	273床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

4 主な連携医療機関

・紹介元

イムス富士見総合病院、行定病院、赤心クリニック、所沢腎クリニック
日鼻医院、大井協同診療所、池袋ロイヤルクリニック、富士内科

・紹介先

イムス富士見総合病院、本川越病院、三芳野第2病院、石心会病院、
赤心クリニック、所沢ハートセンター、埼玉医科大学国際医療センター

5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
4F 病棟	25床		6.9日	54.5%
診療科 循環器内科				
診療実績 ○主な疾患：狭心症、心筋梗塞、頻脈性不整脈、心不全、閉塞性動脈硬化症 ○主な手術：経皮的冠動脈ステント留置術、経皮的カテーテル心筋焼灼術、四肢血管拡張術 血栓除去術、大動脈バルーンポンピング法、ペースメーカー移植術 ○24時間、緊急カテーテル検査・手術施行 ○術後のモニター管理、急変時における対応（気管内挿管・心臓マッサージ・DC等）				
医療連携における課題、問題点 ○施設からの入院患者が退院となったとき、薬の種類が増えていることが多く、再入所には受け入れ施設で対応可能な薬への変更や中止が条件となり、受け入れ不可となってしまうことがある				
その他 ○ ○				

(以下、病棟ごとに同様の書式で記載)

病床機能報告

- 1 病院名 医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院
- 2 所在地 埼玉県入間郡三芳町藤久保 974-3
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 7病棟

病床数 238床 (現在:2017年病床機能報告)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
8床	184床	床	46床	238床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
10床	217床	床	46床	273床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

4 主な連携医療機関

・紹介元

遠山脳神経外科、イムス富士見総合病院、埼玉セントラル病院、
中島医院、上福岡駅前クリニック、この医院、富士内科、古堅内科

・紹介先

イムス富士見総合病院、防衛医科大学校病院、三井病院、富家病院、
東京腎泌尿器センター大和病院、城南中央病院、新所沢清和病院、東京病院

5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
6F病棟	48床		9.6日	82.2%
診療科				
脳神経外科、泌尿器科				
診療実績				
○主な疾患：脳梗塞、未破裂脳動脈瘤、頭蓋内血腫、尿路結石、膀胱腫瘍、前立腺肥大症				
○主な手術：経皮的頸動脈ステント留置術、脳血管内手術、慢性硬膜下血腫洗浄・除去術 経尿道的尿路結石除去術、膀胱悪性腫瘍手術、体外衝撃波尿路結石破碎術				
○24時間緊急手術施行体制（脳神経外科）				
○術後の呼吸器管理、急変時における対応（気管内挿管・心臓マッサージ・DC等）				
医療連携における課題、問題点				
○泌尿器科は膀胱癌でリネプリンなど抗がん剤の注射があると老健の転院受け入れ先が限られてしまう。				
○脳外科は高次脳機能障害が強いと待機が長くなる。回復期への転院が難しい。				
その他				
○				
○				

(以下、病棟ごとに同様の書式で記載)

病床機能報告

- 1 病院名 医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院
- 2 所在地 埼玉県入間郡三芳町藤久保 974-3
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 7 病棟

病床数 238 床（現在：2017 年病床機能報告）

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
8 床	184 床	床	46 床	238 床



(2025 年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
10 床	217 床	床	46 床	273 床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

- 4 主な連携医療機関

・紹介元

池袋ロイヤルクリニック、小林胃腸科、イムス富士見総合病院、
埼玉セントラル病院、埼玉医科大学総合医療センター

・紹介先

埼玉医科大学総合医療センター、防衛医科大学校病院、板橋中央総合病院、
所沢腎クリニック、埼玉医科大学国際医療センター、埼玉医科大学病院

- 5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
7F 病棟	48 床		14.2 日	78.1%
診療科 内科、内分泌代謝科				
診療実績 ○主な疾患：肺炎、心不全、糖尿病、慢性腎臓病、敗血症 ○24 時間緊急透析施行 CHDF、血漿交換、免疫吸着、LDL 吸着対応、エンドトキシン吸着施行 ○重症患者に対する人工呼吸器管理・CV 管理 ○緊急輸血対応				
医療連携における課題、問題点 ○インスリン患者のインスリン回数が3回以上であると受け入れが難しく、施設からの入院患者は施設の看護体制が整わないことを理由に戻れないことが多い。				
その他 ○ ○				

(以下、病棟ごとに同様の書式で記載)

病床機能報告

- 1 病院名 医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院
- 2 所在地 埼玉県入間郡三芳町藤久保 974-3
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 7病棟

病床数 238床 (現在:2017年病床機能報告)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
8床	184床	床	46床	238床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
10床	217床	床	46床	273床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

- 4 主な連携医療機関

・紹介元

池袋ロイヤルクリニック、小林胃腸科、この医院、中島医院、富士内科、埼玉県健康づくり事業団、松澤クリニック

・紹介先

埼玉医科大学総合医療センター、防衛医科大学校病院、埼玉病院、複十字病院、東京医大病院、板橋中央総合病院、埼玉医科大学病院、松澤クリニック

- 5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
8F 病棟	48床		10.7日	92.6%
診療科 消化器内科、消化器外科、呼吸器外科、血管外科、乳腺外科				
診療実績 ○主な疾患：食道・胃・十二指腸疾患、腸炎（ウイルス性・細菌性）、膵炎、胆管結石、胆嚢炎、大腸癌、胃癌、腸閉塞、虫垂炎、肺癌、気胸、下肢静脈瘤、乳癌 ○主な手術：腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術、胸腔鏡下肺切除術、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術、大伏在静脈除去術、乳腺悪性腫瘍手術 ○24時間緊急内視鏡検査・手術施行 ○化学療法				
医療連携における課題、問題点 ○ERBDチューブが抜けないと受け入れてもらえない。				
その他 ○				

(以下、病棟ごとに同様の書式で記載)

病床機能報告

- 1 病院名 医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院
- 2 所在地 埼玉県入間郡三芳町藤久保 974-3
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 7病棟

病床数 238床 (現在:2017年病床機能報告)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
8床	184床	床	46床	238床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
10床	217床	床	46床	273床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

- 4 主な連携医療機関

・紹介元

埼玉セントラル病院、根本眼科、埼玉医科大学病院、上福岡駅前クリニック、つるせ整形外科、富士見井上眼科、わたなべ皮膚科、すじの眼科

・紹介先

埼玉医科大学総合医療センター、防衛医科大学校病院、埼玉病院、複十字病院、東京医大病院、板橋中央総合病院、埼玉医科大学病院、松澤クリニック

- 5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
9F 病棟	48床		8.8日	76.9%
診療科				
整形外科、眼科、皮膚科、耳鼻科				
診療実績				
○主な疾患：股関節大腿近位骨折、胸椎・腰椎骨折、白内障、前庭機能障害、急性膿皮症				
○主な手術：人工骨頭挿入術、人工関節置換術、アキレス腱断裂手術、骨折親血の手術、喉頭腫瘍摘出術、耳下腺腫瘍摘出術、汎副鼻腔根治手術、白内障手術				
○早期のリハビリテーション実施				
○陰圧閉鎖療法施行				
医療連携における課題、問題点				
○シェーグレン症候群などの難病患者の紹介の際、薬を取り扱っている病院が少なく、2市1町にはない。				
その他				
○				
○				

(以下、病棟ごとに同様の書式で記載)

病床機能報告

- 1 病院名 医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院
- 2 所在地 埼玉県入間郡三芳町藤久保 974-3
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 7 病棟

病床数 238 床 (現在:2017 年病床機能報告)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
8 床	184 床	床	46 床	238 床



(2025 年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
10 床	217 床	床	46 床	273 床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

- 4 主な連携医療機関

・ 紹介元

・ 紹介先

富家病院、イムス富士見総合病院、埼玉ロイヤルケアセンター、
埼玉セントラル病院、城南中央病院、新所沢清和病院

- 5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
5F 病棟	46 床		65.3 日	100.8%
診療科				
内科、消火器内科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科				
診療実績				
○ 主な疾患：慢性腎臓病、脳血管疾患、				
○ 入院中の維持透析患者の透析管理				
○ 重度意識障害者を含む障害者・難病患者等の慢性期患者に対し、長期療養を目的として医療措置やリハビリテーションを施行				
医療連携における課題、問題点				
○ 抗がん剤を使用している患者は、一般施設では薬剤の取り扱いがないため、一般急性期病院を併設している施設に限定されてしまう。				
その他				
○				
○				

(以下、病棟ごとに同様の書式で記載)

病床機能報告

- 1 病院名 医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院
- 2 所在地 埼玉県入間郡三芳町藤久保 974-3
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 7病棟

病床数 238床 (現在:2017年病床機能報告)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
8床	184床	床	46床	238床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
10床	217床	床	46床	273床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

4 主な連携医療機関

・紹介元

遠山脳神経外科、イムス富士見総合病院、埼玉ロイヤルケアセンター、行定病院
赤心クリニック、富士内科クリニック、大生病院、イムスケアふじみ野

・紹介先

新座志木中央総合病院、埼玉医科大学総合医療センター、複十字病院、
防衛医科大学校病院、板橋中央総合病院、日大医学部附属板橋病院、東京病院

5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
HCU 病棟	10床		4.6日	80.0%
診療科 循環器内科、脳神経外科、内科				
診療実績 ○主な疾患：脳梗塞、未破裂脳動脈瘤、頭蓋内血腫、狭心症、心筋梗塞、重症肺炎 ○主な手術：経皮的頸動脈ステント留置術、脳血管内手術、経皮的冠動脈ステント留置術 ○24時間t-PT治療対応 ○重症患者、心肺蘇生後患者の全身管理 ○術後の厳密な周術期管理				
医療連携における課題、問題点 ○特になし				
その他 ○				

(以下、病棟ごとに同様の書式で記載)

平成30年7月12日

埼玉県 朝霞保健所長 殿

菅野病院
事務局長 高萩

病床運営についての状況報告

標記の件、当院に於ける病床機能並びに医療連携の課題・対応につきまして以下に御報告致します。

記

1 病床数及び今後の計画

精神科病床における認知症合併症対応

【入院基本料】

H29/4月			H30/4月			H31/4月(考慮中)					
		病床数			病床数			病床数			
本館	7F	医療療養	38	7F	医療療養	38	7F	医療療養	38		
	6F	介護療養	36	6F	介護療養	32	6F	精神一般(合併症)	32		
	5F	介護療養	36	5F	地域包括ケア	28	5F	地域包括ケア	28		
	4F	一般(15:1)	26	4F	医療療養	26	4F	医療療養	26		
別館	5F	精神一般	280	5F	精神一般	280	5F	精神一般	248		
	4F										
	3F										
	2F										
合計			416	合計			404	合計			372

【病床機能報告】

急性期	26	急性期	—	急性期	—
回復期	—	回復期	28	回復期	28
慢性期	38	慢性期	64	慢性期	64
合計	64	合計	92	合計	92

2 医療連携における課題と対応

地域包括ケアシステムの対応に向けた体制強化

病院機能	現状の課題	対応策(予定)
1 慢性期 (医療療養)	1) 医療必要度が高く在宅復帰困難患者の受入 ・薬剤・医療消耗品のコスト増 抗がん剤/腎臓交換/他 ・施設基準内人員配置での看護職員不足	・当面は稼働率優先で対応 ・看護配置増員(夜勤増員)
2 回復期 (地域包括ケア)	1) 在宅患者受入れ等の地域連携 訪問在宅診療所等からのレスパイト入院 増加に伴う在宅担当者との連携強化	・支援体制構築(医療相談室機強化) 入退院支援加算の取得
3 その他 (精神科一般) (介護療養)	1) 認知症合併患者の対応 ・認知症高齢者においては在宅介護が 限界で精神科病床での医療保護 入院に繋がるケースが数多くみられる ・認知症以外に身体疾患を複数発症 処置病棟の判断が難しい	・認知症患者は周辺症状悪化等により 一般科への紹介であっても精神科医が介入 ・一部精神科病床を「認知症合併症病棟」 へ転換し認知症治療と共に身体疾患の 内科処置を実施 【主な合併症】 慢性腎不全(人工透析) 誤嚥性肺炎 尿路感染症 糖尿病 癌(肺/前立腺/胃/食道) 認知症+
(介護療養)	1) 介護療養病床の廃止(2024/3迄) 介護医療院への転換	・介護療養病床の廃止 「認知症合併症病棟」への転換 医療必要度上昇に対応

～ 以上 ～

病床機能報告資料

- 1 病院名 医療法人社団富家会富家病院
 2 所在地 埼玉県ふじみ野市亀久保 2 1 9 7
 3 病棟数及び病床数

病棟数 4 病棟

病床数 (現在:2017 年病床機能報告)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	28 床	174 床	202 床



(2025 年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	87 床	174 床	261 床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

4 主な連携医療機関

・紹介元

埼玉医大総合医療センター、赤心堂病院、イムス三芳病院、練馬光が丘病院

・紹介先

埼玉医大総合医療センター、イムス富士見病院、TMGあさか医療センター

5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
障害者病棟	56 床	慢性期	251 日	99.9%
診療科 内科、リハビリテーション科				
診療実績 ○急性期病院からの紹介入院、急性期疾患の緊急入院に対応。難病患者や重度の意識障害者、重度の肢体不自由者が入院患者の約 80%、レスピ装着者は約 60% が入院している。また、レスピ装着患者のうち当院入院後のレスピ離脱率は約 22%。				
医療連携における課題、問題点 ○重傷者が多いため、人工呼吸器の使用状況、離脱状況など、転院時点の最新情報を迅速に入手すること。 ○当院と同様に、長期入院にて人工呼吸器装着しながらリハビリ実施している病院が全国的に少ない。仮に転居などを理由に、ご本人ご家族希望で異なる地域において転院先を探す場合、提案可能な転院先がほとんどないことが現状である。				
その他 ○将来の方向性 さらなる離脱率の向上により療養病床への転棟促進にて回転率の向上・在院日数の短縮を目指す。				

病床機能報告資料

- 1 病院名 医療法人社団富家会富家病院
- 2 所在地 埼玉県ふじみ野市亀久保2197
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 4病棟

病床数（現在:2017年病床機能報告）

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	28床	174床	202床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	87床	174床	261床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

4 主な連携医療機関

・紹介元

埼玉医大総合医療センター、赤心堂病院、イムス三芳病院、練馬光が丘病院

・紹介先

埼玉医大総合医療センター、イムス富士見病院、TMGあさか医療センター

5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
療養病棟	89床	慢性期	188日	98.4%
診療科 内科、リハビリテーション科				
診療実績 ○急性期病院からの在宅退院までに必要な治療、人工透析、療養目的での紹介入院に対応。 長期入院者では医療区分1は0%。人工透析者は約25%、胃瘻造設者は約62%、気管切開者は約61%が入院している。 また退院者の約75%が在宅（自宅、特養、サ高住、サポ住）へ復帰しており、退院後は当院の外来診療や富家グループの介護支援にて人工透析通院を実施している。				
医療連携における課題、問題点 ○受け入れ患者層が重症化していることから、現状を迅速に病院間で共有していく必要がある。				
その他 ○将来の方向性 経口摂取率の向上と気管切開の閉鎖率の向上、人工透析の安定化にて施設在宅・一般在宅への退院の促進にて在宅復帰率の向上につなげる。				

病床機能報告資料

- 1 病院名 医療法人社団富家会富家病院
- 2 所在地 埼玉県ふじみ野市亀久保2197
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 4病棟

病床数（現在:2017年病床機能報告）

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	28床	174床	202床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	87床	174床	261床

*今後変更の予定がある場合のみ記載

4 主な連携医療機関

・紹介元

埼玉医大総合医療センター、赤心堂病院、イムス三芳病院、練馬光が丘病院

・紹介先

埼玉医大総合医療センター、イムス富士見病院、TMGあさか医療センター

5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
回復期リハビリ病棟	28床	回復期	67日	96.0%
診療科				
内科、リハビリテーション科				
診療実績				
○急性期病院からのリハビリテーション目的での紹介入院に対応。 当院は回復期リハビリテーション病棟入院料2を平成30年6月1日に取得し、在宅復帰率80.4%、重症率33.3%、重症者改善率66.7%、アウトカム37点の実績がある。また人工透析者の受入れも積極的に行っている。				
医療連携における課題、問題点				
○当院では回復期病棟ながら、人工透析や気管切開などの重症な医療行為のある患者様を多く受け入れているため、入退院時、また入院中でも現状を迅速に病院間で共有し、スムーズに入院受入・退院支援につなげていく。				
その他				
○将来の方向性 平成31年に回復期リハビリ病棟29床増床、地域包括ケア病棟30床増床予定しており、今後増加するサブアキュートの患者様に対応していく。				

病床機能報告資料

- 1 病院名 医療法人社団富家会富家病院
- 2 所在地 埼玉県ふじみ野市亀久保2197
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 4病棟

病床数（現在：2017年病床機能報告）

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	28床	174床	202床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	87床	174床	261床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

4 主な連携医療機関

・紹介元

埼玉医大総合医療センター、赤心堂病院、イムス三芳病院、練馬光が丘病院

・紹介先

埼玉医大総合医療センター、イムス富士見病院、TMGあさか医療センター

5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
特殊疾患病棟	29床	慢性期	962日	99.9%
診療科 内科、リハビリテーション科				
診療実績 ○急性期病院での治療を終えた難病患者の長期的加療目的での紹介入院に対応。難病患者や重度の意識障害者、重度の肢体不自由者が約90%、胃瘻造設者は約86%、気管切開者は約62%が入院している。				
医療連携における課題、問題点 ○受け入れ患者層が重症化していることから、現状を迅速に病院間で共有していく必要がある。				
その他 ○将来の方向性 重度長期慢性期患者の対象病棟ではあるが、リハビリにて重傷者の軽度化をはかり、在宅復帰の可能性を探っていく。				